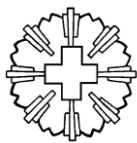
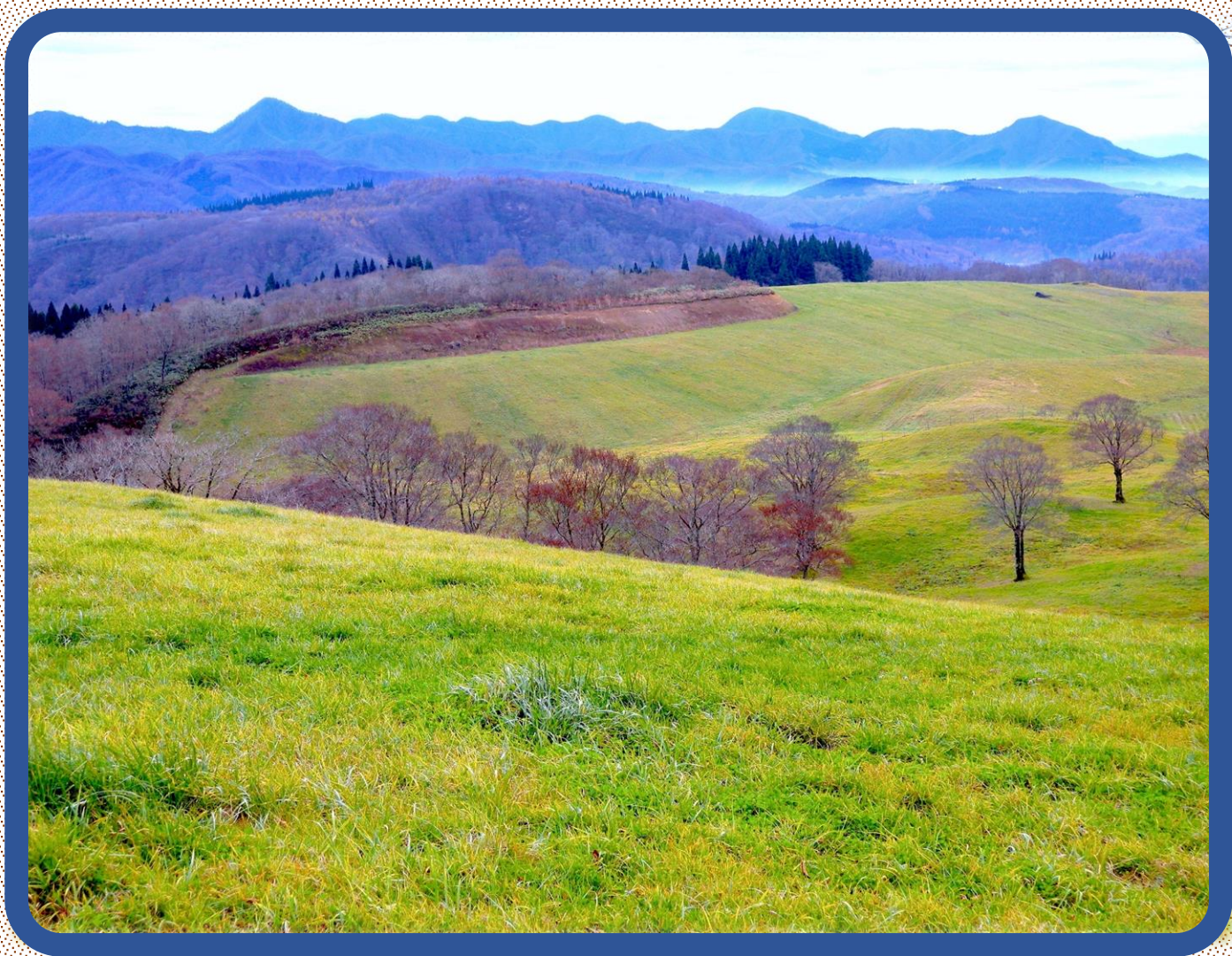


米沢市立病院 地域医療連携室だより



編集 米沢市立病院事務局地域医療連携室
〒992-8502 米沢市相生町6番36号
TEL(0238)22-2450(代表) (0238)22-2613(直通)
FAX(0238)22-2624
URL <http://www.yonezawa-city-hospital.jp/>

2022
令和4年11月
Vol. 41



晩秋の宝栄牧場から船形連峰

撮影者：大串雅俊病院長

特集

Topics

地域保険薬局との連携による患者支援の取り組み
当院における「マイナ保険証」の取扱い
非紹介患者初診加算料等の改定

新任医師の紹介
新病院建設の近況

秋号

地域保険薬局との連携による患者支援の取り組み（薬剤部）

手術や検査の際に薬を数日前より休薬しなければならない場合があります。これまでは外来にて患者さんへ休薬の説明を行っていましたが、正しく伝わらないケースもあり、休薬せずに入院してきて手術が延期になるようなことが時折見られました。

このような状況を病院だけの取り組みだけで改善していくことが中々難しいため、地域全体で支えていく方策として地域の保険薬局との連携による患者支援の取り組みを令和4年9月1日よりスタートしています。

外来にて手術等が決まった際に、医師から紹介状やお薬手帳等より中止薬の指示が出ますが、その内容を当院からかかりつけ薬局へ情報提供を行います。

かかりつけ薬局では病院から受けた情報と、当院以外の通院中の医療機関の有無、もし通院中であれば、その処方情報や一般用医薬品、サプリメント情報なども含めた患者情報を集約します。さらに中止薬の指導や再調剤が必要な場合などの服薬支援を行い、新たに得た情報や支援内容を病院へ患者さんが入院する前に情報提供を行います。

病院側では薬剤部が情報提供の窓口となり指示の漏れがないか、かかりつけ薬局からの情報内容の精査を行い、入院する担当病棟薬剤師と情報共有しております。

令和4年度の調剤報酬改訂では、対人業務の評価の拡充の中で「医療機関からの求めに応じて、保険薬局において入院予定の患者の服用薬に関する情報等の把握と持参薬の整理、医療機関への情報提供を行った場合の評価（服薬情報提供料3）」が新設されました。

導入までの準備に半年以上かかりましたが、この調剤報酬改訂も今回の地域連携の後押しとなっていると思います。

これからの時代は医療機関単独での患者支援は難しいこともありますが、地域一丸となって支援をしてより良い医療が患者さんへ提供できればと考えます。



薬薬連携ツールを活用して、
良い治療が患者へ提供できるように
地域一丸となって関わられたらと思います！



双方向による患者支援



当院における「マイナ保険証」の取扱い

マイナンバーカードを健康保険証として利用する「マイナ保険証」制度が令和3年10月20日から本格運用開始となりました。



マイナ受付
対応しています

医療機関や薬局で、保険証の代わりにマイナンバーカードを使う新たな方法。それが「マイナ受付」です。

マイナンバーカードが
保険証として使えます。

マイナンバーカードを保険証として使うと

- POINT ① ！
より良い医療が可能に！
それぞれの医療機関で、事前に報告の発生を待たず、今までの受診した際の情報が共有でき、より適切な医療が受けられるようになります。
- POINT ②
手続きなしで最低額以上の一時的な支払が不要に！
高額療養費決定率が低く、高額療養費制度における負担を軽減する効果が期待できます。

このステッカーが目印！

事前に登録するだけで利用できます！

詳しくは [マイナポータル](#)

当院でも本格運用開始日に合わせて「マイナ保険証」が利用できるようになっておりますが、まだまだ利用者は少ない現状です。総務省が発表しているマイナンバーカードの交付率を見ると全国の人口に対する交付率は令和4年10月末時点で51.1%、山形県は49.1%で約2人に1人が持っていることとなります。

国は健康保険証とマイナンバーカードを一本化する方針を明らかにしており、マイナンバーカードの普及促進のためマイナポイントの申請期間延長や利用できるサービスの拡大を図っています。それに伴い、医療機関に対して「マイナ保険証」を利用するためのオンライン資格確認システムの導入が令和5年4月から一部医療機関を除き原則義務化となり、その動きに先立ち令和4年10月から診療報酬上の評価として「医療情報・システム基盤整備体制充実加算」が新設されるなどマイナンバーカードを医療に活用する動きが加速しています。

当院では、今後ますます加速が予想されるマイナンバーカードを活用した医療のデジタル化の動きを注視し、患者の利便性向上など地域医療に貢献できる体制を整備していきたいと思っております。

非紹介患者初診加算料等の改定

当院では、病院と診療所の機能分化を進めるために、他の医療機関からの紹介状を持参せずに直接来院した患者から「非紹介患者初診加算料」を、病状安定後に当院から他の医療機関等に紹介したにも関わらず、引き続き当院を希望し新たな紹介状を持参せずに受診した患者から「再診時特定加算料」をいただいております。

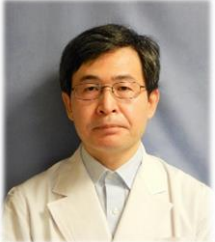
この加算料について、令和4年度診療報酬改定に伴い、**令和4年10月1日から金額を改定**しました。

患者本人の窓口負担軽減の為に、当院への紹介の際には紹介状（診療情報提供書）をお持ちいただけるよう、引き続きご配慮お願いいたします。

(税込)

区 分		改定前	改定後
非紹介患者初診加算料	医科	5,000円	7,000円
	歯科	3,000円	5,000円
再診時特定加算料	医科	2,500円	3,000円
	歯科	1,500円	1,900円

新任医師の紹介



- ①鈴木 明彦
(すずき あきひこ)
- ②消化器内科
- ③岩手県盛岡市
- ④山形大学
- ⑤車、ドライブ

⑥前任の三友堂病院は 14 年半勤務しておりました。微力ではございますが、引き続き地域医療に貢献したいと存じますので、よろしくお願い申し上げます。



- ①天野 真太郎
(あまの しんたろう)
- ②耳鼻咽喉科
- ③東京都
- ④山形大学
- ⑤野球観戦

⑥11月より米沢市立病院に赴任致しました天野真太郎と申します。米沢の医療の為に精一杯取り組みますので、何卒よろしくお願い致します。

①氏名(ふりがな) ②診療科 ③出身地 ④出身大学 ⑤趣味・特技 ⑥ご挨拶

転出医師

渡邊 千尋(耳鼻咽喉科外科)

よろしくお願ひします。

新病院建設の近況(11月の工事現場風景)

病院西側上空から敷地全景の撮影



4階の床部分と柱部分の工事がほぼ完了し、5階の梁部分の鉄骨工事が進んでいます。

新病院の4階の床部分が、既存病院の外来棟・管理棟の5階を既に越えています

ロータリーから南側正面玄関の撮影



外壁工事が完了しています。

1階西側から建物内部の撮影



1階部分は、外壁と内壁の工事が完了し、部屋の間仕切り壁となる金属製フレームの設置工事が進んでいます。(中央の廊下部分を境に左側が救急部門で右側が放射線部門)